

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2020～2021年度

糸魚川

“ROTARY OPENS OPPORTUNITIES”

ロータリーは機会の扉を開く



2020/10/22

週報号外版

会長 黒石 孝 クラブ会報雑誌 猪又 勝代
例会場 糸魚川信用組合本店 Tel.552-9880 (呼出)
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
創立 1960. 9. 10 承認 1960. 10. 12
事務局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 Tel (025)552-1225
糸魚川RC HP <http://itoigawa-rc.jp> 第2560地区HP <http://www.rid2560niigata.jp/>

2020年(令和2年)10月15日(木) 第2882回 移動例会開催

9時45分～12時30分 会場:膳処くろひめ様 2階・4階

歓迎「佐藤 真 ガバナー 公式訪問」

— ZOOM オンライン形式で —

佐藤 真ガバナー様 お迎えして

倉茂 章ガバナー補佐様の進行で



— 佐藤 真ガバナー紹介 —
朝日舗道(株)代表取締役社長
新潟県スポーツ協会評議員
村上市体育協会会長
新潟県少林寺拳法連盟顧問



〈佐藤 真ガバナー様 ロータリー歴〉

- ・ 2002年12月17日
村上岩船RC入会
チャーターメンバー
- ・ 2007-08年度クラブ会長
- ・ 2018-19年度
第1分区ガバナー補佐
- ・ 財団寄付 ボールハウスフェロ +4
- ・ 奨学会寄付 米山功労者マルチプル

〈特技・趣味〉

少林寺拳法准範士六段、読書、
ゴルフ、バイク、スノーボード

第7分区ガバナー補佐 倉茂 章 様 (頸北RC)

COVI-19感染症のパンデミック化に伴い
大変な時代に我々は遭遇しております。
今までの常識が通用しない時勢に対応した
ロータリー活動を皆様と一緒に模索し、
この難局を乗り越えていきましょう。

・ 2003年7月1日入会

- ・ 2009-10/2019-20 2度の会長を
- ・ 2014-18 NPO法人国際ロータリー
日本青少年交換委員会研修部門委員
- ・ 2018-現在 (一社)国際ロータリー
日本青少年交換多地区合同機構研修部門委員

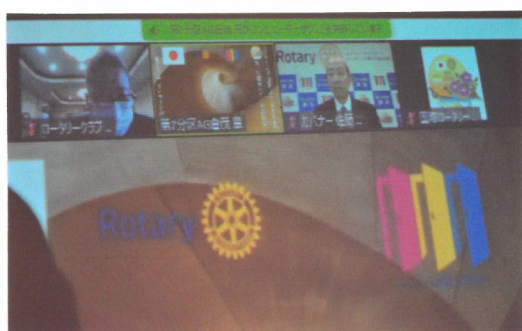
第2560地区 佐藤 真 ガバナー
オンライン公式訪問：写真記録

齊藤 直文インターネット コミュニケーション委員長
オンライン機器設置調整に懸命 大成功に感謝！



スクリーン 佐藤 真ガバナー基本方針説明

会場会員の皆様 熱心に聴講



ガバナー講話後クラブ協議会に移る
黒石 孝会長クラブの現況と活動方針説明



地区幹事：渡邊明紀様より
ご挨拶とクラブ運営の指導を戴く

第2560地区 佐藤 真 ガバナー
オンライン公式訪問：写真記録

◎ 本日出席者会員の皆様自己紹介
－ 写真は岩崎和夫様自己紹介の様子－



意見交換・質疑の時間で
次期会長：田邊栄三様 ガバナーと貴重な質疑応答を



オンラインガバナー公式訪問 熱心に聴講される会員一同様



ガバナーオンライン公式訪問無事終了 第2882回例会に移る
黒石 孝会長様 点鐘に続き挨拶・樋口 浩幹事様 幹事報告



本日のスマイルニコニコ報告：猪又勝代さん 会報・ニコニコ箱委員長



今一度、佐藤 真ガバナー方針 / RI会長メッセージを全員で聴講 勉強タイム





勉強タイムも終了
報告事項等に移る
ほっと一息・・・



会員 大島 證道 様
糸魚川地区青少年健全育成協議会会長
警察庁長官/全国防犯協会連合会長連名
「防犯栄誉銀賞」を授賞
大島様 報告とお礼の言葉を”
参考新聞記事添付
他に糸魚川ホットニュースも
加えました

例会終了本日の昼食タイム：膳処クロヒメさんのお弁当 皆さんで美味しく戴きました



お目出度御座います “永年の尽力たたえ”

大島 證道さん 防犯榮譽銀賞を受賞

長年の尽力たたえ

糸魚川地区青少年健全育成協議会会長 大島 證道さん(80)

防犯榮譽銀章を受賞



防犯功労者に対する表彰「防犯榮譽銀章」を受賞した大島さん(中央)

糸魚川地区青少年健全育成協議会会長の大島證道さん(80)は、警察庁長官、全国防犯協会連合会会長の連名による防犯功労者に対する表彰、令和2年度「防犯榮譽銀章」を受賞した。糸魚川警察署(中村昭署長)で9日、表彰状の伝達式が行われた。

青少年補導員や保護司として活動し、会長の責務を長年担ってきた大島さん。全国表彰では地域安全活動への尽力、安全で安心な街づくりへの貢献が評価された。銀章は県内で2人のみ。

受賞に当たり大島さんは、各方面の協力や支援に感謝。「子どもさんの成長は、親御さんにとっても地域にとっても大事。少しでも健全育成のお役に立た。表彰伝達した中村署長は長年の活動に敬意を表し、子ども目線に賛同。「少子化で今まで以上に健全育成の比重は重くなっていく。子どもを取り巻く環境を良くしていくことを、永遠の課題に励んでいきたい」と述べ、引き続き協力を求めた。

波動

糸魚川市文化協会からうれしい計画が届いた。同会が中心事業として取り組む

「文化協会フェスティバル」の、来年3月の開催へ準備をスタートさせたという。今年3月の14回目の計画は、準備万端整っていた土壇場でコロナ禍のため中止になり残念だった▼そんなこともあって、今回の全体テーマは「彩・奏・舞」のりこえよう!みんなで」と設定されている。会場はコロナ対策を見据えてのことだろう、これまでの青海絵合文化会から糸魚川市民会館に変更され、内容的にも会員団体の活動を体験してもらおうコーナーやオープンカフェなどは行わない予定で計画されている。

コロナで停滞していた文化活動が、これを機に活発になることを願いたい▼国ではコロナ対策で影響を受けたイベントやエンターテインメントを対象に、その需要を喚起することを目的として「GOTOイベント」というキャンペーンが計画されている。市民会館などの文化施設には朗報だろう。どんな催しが対象になるのか、それを楽しみにコロナ禍を乗り越えたものだ。

ジオの里 新たな観光資源

コスモクロア輝石露頭

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界ジオパークに認定されている糸魚川市で、今秋、市や県などが希少鉱物の見学会のほか、天然の巨樹・巨木散策ツアーを展開している。いずれも長野県境に近い地域で、関係機関は新たなジオの里巡りの魅力発信に意気込んでいる。

糸魚川

市天然記念物に指定

市民ら対象
見学会



コスモクロア輝石露頭を指し示すフォッサマグナミュージアムの学芸員＝糸魚川市

糸魚川市は、同市山之坊の国道脇で見つかった希少鉱物「コスモクロア輝石露頭」を市の天然記念物に指定し、市民らを対象に見学会を開いた。

コスモクロアは、クロムを含む濃緑色の鉱物で、隕石から初めて見つかったことから「宇宙の緑」を意味する。市によると、これまで国内で産出されたのは同市と岡山県、高知県の3

カ所のみという。昨秋、茨城県の鉱物愛好家が学術雑誌で糸魚川市内のコスモクロア輝石の露頭を発表した。

これを受けてフォッサマグナミュージアムの学芸員らが場所を突き止め、ことし6月に市の天然記念物に指定。盗掘防止のため、市が防護柵と監視カメラを設置するなど公開の準備を進めてきた。

露頭は、ネフライトといわれる緑色の岩石の中に、直径数センチの粒状のコスモク

ロア輝石が3センチほどの集合体になって露出している。市は7日に報道関係者、11日には市民向けの見学会を開き、「石のまち糸魚川」の見学スポットとしてアピールした。

同ミュージアムの小河原孝彦学芸員(37)は「これまで姫川下流でコスモクロア輝石が採取された例はあるが、今回は産出場所につながる貴重な発見」と解説した。問い合わせは市文化振興課、025(552)1511。

造形美解説 ツアー企画

大所の森 巨樹・巨木

糸魚川

糸魚川市の大所集落近くに広がる「大所の森」で今秋、県糸魚川地域振興局や市観光協会が、天然のブナと杉の巨木を巡る見学ツアーを企画している。いずれも専門ガイドが随行し、長い年月をかけて変形した巨樹の造形美を解説する。

大所の森は、県や市、地元住民らでつくる委員会が観光資源として活用しようと整備を進めてきた。樹齢数百年、幹回り4.8あるブナの伐採変形木(アガリコ)が十数本点在。江戸期に上部が切り倒された後、根元の枝が絡むように育った大杉も林立している。

ガイドを務める「きらら自然の会」の笠原勇一さん(62)は「これほど変化に富む巨樹・巨木がそろった森はあまりない」と太鼓判を押している。県糸魚川地域振興局のツアーは18、24日の2回。定員10人。参加費2千円。問い合わせは025(553)1843。

市観光協会のツアーは今月末まで十数回。参加費(現地集合プラン)7千円。「Go To トラベル」による割引が可能。問い合わせは025(553)7344。

(553)7344。



巨大な杉やブナの見学ツアーが開かれる大所の森。糸魚川市